

特集

精神医療保健福祉に求められる地域リハビリテーションのあり方

これからの精神科医療機関のあり方	野口正行
精神科におけるこれからの訪問看護のあり方	原子英樹
地域生活を支える相談支援事業のあり方	吉野 智
就労支援/リワーク支援のあり方—地域移行の流れと実践を通して考える	
方向性	牧 宏一
官民協働で精神障害者ピアサポートを育成する	中野千世
多様な生き方を支えるための地域生活支援・地域リハビリテーションのあり方	遠藤真史

※都合により誌面が変更される場合がございます。

●編集後記

今年もまた4月がやってきました。4月は春というだけでなく、日本人にとっていろいろなことの始まりの季節です。実は春が季節の最初という考えは、西洋にもあり、イタリア語では primavera, フランス語では printemps というように 語の頭に pri- という「最初」と言う意味の接頭辞が付きます。つまり、季節は春から始まるという意味を持っています。また、プラハの春、アラブの春といった政治や社会の抑圧された体制が劇的に自由で開かれた方向に変化することにも「春」という言葉が使われているように、明るい自由な社会を手にするといった意味もあると思います。このように春を待ち望む気持ちはどの民族にもあるのかもしれませんが、学校も会社も家庭もすべての人が「始まり」を4月に持ってくる日本人にとって、やはり4月はとても意味のある季節です。留学しやすくするために、また留学生を受け入れしやすいように大学の9月入学をもくろんでも、なかなか広まらないことや、プロサッカーを本場のヨーロッパや南米のように秋冬制にしようとしてもなかなか同意を得られないことも、もしかすると日本は1月あるいは4月という「春」の始まりのわくわく感を忘れられないためかもしれません。

このように春はスタートの季節です。今まででなんとなくできなかったこと、やらなかったこと、勉強もプライベートも含めて出発しやすい時期です。昨今の社会は、どうもドロップアウトを怖がり、できるだけ失敗しないようにすることを良しとするようです。そして一度できないことがあったり、人と違う結果になったりすると、もうそこから立ちあがれないように、その人自身も周りもそう思う。これはとても残念なことです。先日の国際女性デーの時に、キャロライン・ケネディ駐日米大使が10代の女の子に向けて「間違えることは悪いことじゃない。間違えることで未来が形づくられることもある。間違いや失敗は恐れるものではない」というメッセージをあてたことを聞きました。道を外れること、違う道を通ってみることを恐れないことをこの春から自分の生き方として試してみるのが良いのではないのでしょうか。また違った自分を見つけられるような気がします。

編集委員 西脇恵子

●編集名譽顧問

大田仁史 澤村誠志
米満弘之

●編集顧問

石川 誠 浜村明徳

●編集委員

栗原正紀(編集委員長)
伊藤隆夫 佐藤浩二
西脇恵子 山下裕子
渡邊慎一

●編集同人

浅海奈津美	有賀 徹
伊佐地隆	石松隆和
伊藤貴子	岩崎千佳
上菌紗映	生方克之
逢坂伸子	大越 満
太田秀樹	大武美保子
岡田しげひこ	乙坂佳代
加来克幸	寛 淳夫
加藤武彦	金子 寿
川越雅弘	木下康仁
桑山浩明	小林直樹
齋藤正洋	榊原次郎
座小田孝安	佐藤久夫
鈴木孝治	武原光志
玉垣 努	角町正勝
土井勝幸	野尻晋一
橋本美芽	長谷川幹
畑野栄治	半田理恵子
東川悦子	備酒伸彦
廣末ゆか	福田俊江
古屋 聡	丸山 泉
水間正澄	宮崎宏興
宮田昌司	村井千賀
村上重紀	森岡悦子
柳 尚夫	山川百合子
山口晴保	若林秀隆

●査読委員

稲川利光	梅津祐一
金城利雄	阪井康友
澤 俊二	野崎園子
備酒伸彦	松坂誠應
水間正澄	

第10巻第4号[通巻109号] 2015年4月15日発行(毎月1回15日発行)

地域リハビリテーション 4月号

1部定価(本体1,800円+税)
2015年年間予約購読料(12冊) 21,600円+税(送料弊社負担)

発行 | 株式会社三輪書店 代表者: 青山 智
(担当: 大島・木次谷)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷綱ビル
Tel 03-3816-7796 / Fax 03-3816-7756
URL <http://www.miwapubl.com>
郵便振替 00180-0-255208

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, ©2015, Printed in Japan

表紙・本文デザイン | 白井弘志(公和図書デザイン室)
印刷 | 三報社印刷(株) Tel 03-3637-0005
広告 | (株) メディカルブレーン Tel 03-3814-5980

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

【COPY】<社出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。